

会

報

社団法人 日本病理学会  
〒113-0033  
東京都文京区本郷2-40-9  
ニュー赤門ビル4F  
TEL: 03-5684-6886  
FAX: 03-5684-6936  
E-mail jsp-admin@umin.ac.jp  
http://jsp.umin.ac.jp/

社団法人日本病理学会

第269号

平成22年(2010年)6月刊

### 1. 第101回(平成24年度)日本病理学会総会における宿題報告担当候補者の推薦について

宿題報告担当者については自薦に加えて学術評議員からの推薦を受けております。下記の要領で、宿題報告担当候補者の推薦をお願いいたします。学術評議員から推薦された候補者については、学術委員長名で推薦されている旨をご本人にお伝えし、応募されることをお勧めいたします。

推薦方法: 日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に、被推薦者名、演題名(仮題)、簡単な推薦理由、推薦者名、などを記載のこと。

提出先: 〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-9  
ニュー赤門ビル4F  
社団法人日本病理学会事務局

推薦締め切り: 平成22年7月31日

本件につきましてご質問がありましたら、日本病理学会事務局または学術委員長までお問い合わせください。

日本病理学会事務局:

TEL 03-5684-6886 FAX 03-5684-6936  
jsp-admin@umin.ac.jp

学術委員長(佐藤昇志):

TEL 011-613-8374 FAX 011-643-2310  
nsatou@sapmed.ac.jp

### 2. 第101回(平成24年度)日本病理学会総会における宿題報告の募集について(公募のお知らせ)

第101回(平成24年度)日本病理学会における宿題報告を下記の要領により、募集いたします。

#### 記

1. 応募資格: 日本病理学会学術評議員
2. 募集人員: 3名
3. 提出書類:
  - ・日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に、応募者名、演題名、選考用抄録(1,000字以内)などを記載のこと。ダウンロードできない場合は、日本病理学会事務局まで請求のこと。
  - ・講演内容に直接関係のある自著論文50編以内の一覧
  - ・代表的な自著論文10編以内の別刷
4. 提出先: 〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-9  
ニュー赤門ビル4F

社団法人日本病理学会事務局「宿題報告応募抄録」と明記し、書留郵便でお送りください。

5. 締め切り: 平成22年8月31日(消印有効)

なお、第101回日本病理学会における宿題報告担当者は、平成22年秋の学術委員会において厳正・公明に選考し、同年11月の理事会審議にて決定いたします。本件につきましてご質問がありましたら、日本病理学会事務局または学術委員長までお問い合わせください。

日本病理学会事務局:

TEL 03-5684-6886 FAX 03-5684-6936  
jsp-admin@umin.ac.jp

学術委員長(佐藤昇志):

TEL 011-613-8374 FAX 011-643-2310  
nsatou@sapmed.ac.jp

### 3. 理事会、学術評議員会等および総会

平成22年2月23日に東京・ホテル機山館、および4月26日に京王プラザホテルにて理事会が開催され、4月27日には学術評議員会・病理専門医部会、4月28日には総会が開かれた。総会の席上で、第11回(平成21年度)学術奨励賞授賞式が行われた。また、4月28日には、日本病理学会100周年記念事業発起人会が開催された。

これらの理事会、学術評議員会および総会では、理事長、委員会委員長の報告があった。協議事項としては、総会においては平成21年度事業報告並びに収支決算報告、新名誉会員27名の推戴者並びに新学術評議員32名の候補者、会費値下げ案が、それぞれ理事会承認の原案どおり決定した。また理事会では、選挙制度改革案について学術評議員会および総会にて報告することや、100周年記念事業に関する件、会費値下げ案に関する件、各種委員会委員長および委員の選出、平成21年度下期の新入会員49名(年度合計191名)が、協議の結果それぞれ原案のとおり承認された。

また、学術評議員会では、「選挙制度改革案」(向井企画委員長)などが、病理専門医部会では、「病理関係診療報酬の改定について」(深山病理専門医部会長)など、それぞれ報告・討議が行われた。100周年記念事業発起人会では、実行委員会の活動が報告された。

## 4. 学術集会

## 第99回総会（平成22年度）

順天堂大学を世話機関として樋野興夫会長，八尾隆史副会長のもとで，平成22年4月27日（火）～4月29日（木祝日）の3日間，京王プラザホテルにて開催された。

宿題報告は，張ヶ谷健一教授（千葉大学）による「病態解析に向けた細胞-細胞，細胞-基質間相互作用の研究 Mam, CD44, ヒアルロンサン」の解析，米澤 傑教授（鹿児島大学）による「ムチン：ヒト癌における臨床病理学的意義と遺伝子発現機構の解明から腫瘍悪性度早期診断システムの構築まで」，上出利光教授（北海道大学）による「組織微小環境の内的調節因子，オステオポンチンの病態病理学」の3題であった。

特別企画として菅野晴夫先生（癌研究会顧問）による「病理の100年を振り返って」の講演が行われた。特別講演は，柳田邦夫氏（ノンフィクション作家）による「科学の一般性，物語の一般性『25人称の視点』が拓くもの」，招請講演は，松原謙一先生（大阪大学名誉教授）による「これからの病理学・診断と未病社会」，教育講演は，浅島 誠先生（産業技術総合研究所）による「脊椎動物の未分化細胞からの臓器形成と分化制御」，間野博行教授（東京大学）による「独自の技術によるがんの責任遺伝子発見 選別化医療から個別医療へ」，森 正樹教授（大阪大学）による「癌幹細胞研究」の3題が行なわれた。一般演題は1,029題が発表された。

このほかシンポジウム8件，ワークショップ12件，ランチオンセミナー20件，コンパニオンミーティング13件，の発表と討論があった。学生ポスター発表，および学術奨励賞受賞者ポスター発表も行われた。

また，系統的病理診断講習会（免疫組織化学）および臓器別病理診断講習会（病理解剖，乳腺，頭頸部，小児，呼吸器）が開かれた。

今後予定されている総会は以下のとおりである。

## 1) 第56回（平成22年度）秋期特別総会

世話機関：産業医科大学  
会 長：橋本 洋教授  
会 期：平成22年11月25日（木）～26日（金）  
会 場：西日本総合展示場（北九州市）

## 2) 第100回（平成23年度）総会

世話機関：東京大学  
会 長：深山正久教授  
会 期：平成23年4月28日（木）～30日（土）  
会 場：パシフィコ横浜

## 3) 第57回（平成23年度）秋期特別総会

世話機関：昭和大学  
会 長：諸星利男教授  
会 期：平成23年11月17日（木）～18日（金）  
会 場：日本教育会館

## 4) 第101回（平成24年度）総会

世話機関：慶應義塾大学

会 長：岡田保典教授  
会 期：平成24年4月26日（木）～28日（土）  
会 場：京王プラザホテル

## 5. 常任理事会報告（東京 総会時）

## 1. 青笹克之理事長

青笹克之新理事長より，基本方針，会員数の推移，カテゴリー別会員数，新役員の紹介があった。

## 1) 基本方針

病理学会の目的として定款には次のように記載されている。「この法人は病理学に関する学理及びその応用についての研究の振興とその普及を図り，もって学術の発展と人類の福祉に寄与する。」このことから病理学会活性化を図るため主な方針として次のことを掲げる。

1. 学術活動の充実，強化（学術委員会）
2. 理事，理事長選挙方法の改革（企画委員会）
3. 各種委員会活動の活性化：原則1学術評議員が1委員としたことから従来に比べて1.7倍の学術委員の参加を得られた。
4. 病理医の業務環境の改善（医療業務委員会）

## 2) 会員数の推移

近年，一般会員の数が増加してきている。

## 3) カテゴリー別会員数

一般会員のうち，医師・歯科医師以外の会員の占める割合が増えていることから，病理学会の活動についても検討していく必要がある。

## 4) 新役員は次の通りである。

理 事：19名

理 事 長	青 笹 克 之
副理事長	向 井 清
副理事長	寺 田 信 行
常任理事	上 田 真喜子
常任理事	佐 藤 昇 志
常任理事	深 山 正 久
理 事	橋 本 洋
理 事	覚 道 健 一
理 事	加 藤 良 平
理 事	黒 田 誠
理 事	松 原 修
理 事	本 山 悌 一
理 事	根 本 則 道
理 事	岡 田 保 典
理 事	笹 野 公 伸
理 事	白 石 泰 三
理 事	山 口 朗
理 事	安 井 弥
理 事	吉 野 正

監 事：2名

監 事	真 鍋 俊 明
監 事	佐 野 壽 昭

支部長(兼務): 7名

北海道	佐藤昇志
東北	本山悌一
関東	加藤良平
中部	白石泰三
近畿	寺田信行
中国四国	吉野正
九州沖縄	橋本洋

理事長報告

- 1) 診療報酬改定については深山病理専門医部会長より説明がある。
  - 2) 剖検数が10体未満の施設での解剖を死体解剖資格申請に使うことについては個別に審査すると厚生労働省の通達が出された。
  - 3) 公益法人化についてはホームページに中間報告を掲載して会員の意見を募っている。公益認定社団法人を目指すかどうかについても検討中である。
  - 4) 100周年記念事業については、現在寄付の依頼をしているところであり、これまでに約1,000万円弱のご寄付をいただいている。
  - 5) 医療関連死モデル事業については、新たに「日本医療安全調査機構」の立ち上げが行われた。
  - 6) 本年度の専門医試験は7月24日、25日に京都府立医大にて行われる。
  - 7) PINのonline only化に伴って、Wiley-Blackwell社から出版費の値下げを提示された。それを基にした会費の値下げ案を作成したので、協議事項として財務委員長よりお諮りする。
  - 8) 選挙制度改革については、学術評議員の投票によって選出された役員候補者を総会で選任することについて、向井清企画委員長より説明がある。
  - 9) 日本医療機能評価機構の病理学会委員を推薦した。
  - 10) 日本専門医制評価・認定機構の病理学会委員を推薦した。
  - 11) 日本医学会の病理学会委員を推薦した。
- 広報委員会
- 1) 今年度よりPathology Internationalのonline only化に伴い、紙媒体による「お知らせ」を年4回配布する。HPもリニューアルする予定である。
- 編集委員会
- 1) Pathology Internationalの2009年のインパクトファクターが1.4を超える見込みである。
- 国際交流委員会
- 1) 日英交流では、本年はシニア1名、ジュニア2名を英国に派遣する。
  - 2) 日独交流では、隔年でシニア1名ずつの相互派遣を検討している。
- 支部委員会
- 1) 支部メールリングリストの充実に努める。

2 向井 清副理事長(企画委員会報告)

選挙制度改革案について、向井委員長より説明があった。

日本病理学会の定款における目的として「病理学の学理およびその応用についての研究の振興とその普及を図り、もって学術の発展と人類の福祉に寄与する」とある。この目的達成において理事会が主導的役割を果たすことから、選挙制度改革につき次の通り提案する。

理事・理事長は病理学に十分な経験を有し、精通していることが求められる。この役員選挙権者は病理に専任し、一定の見識を有する者であるべきである。社団法人化の際に「社員総会において選任する」ということを字義通りに解釈し、現在のような正会員全員による投票で役員を選出・選任するようになった。しかし他学会の多くでは学会歴が長く、学会運営に見識の有る会員である評議員あるいは代議員が役員を選出している。病理研究歴7年以上、5年以上の病理学会会員歴があり、一定の条件を満たして学術評議員となった会員による役員選出の方が病理学を専攻していない又は病理学の経験の浅い会員を含めた全会員による役員選出よりも、より適任な役員を選ぶことができる。以上の観点から役員候補の選出を学術評議員が行い、その候補者を総会で選任するという方式を提案する。手順は、現在の選挙と変わらない。現在の正会員全員での郵便投票を、学術評議員による郵便投票とし、定員までの上位得票者を理事候補者として秋期特別総会時に正会員全員で選任する。理事長の選任についても、現在の正会員全員による郵便投票を、学術評議員による郵便投票とし、秋期特別総会時に正会員全員により選任する。

この選挙制度改革案のメリットとしては、次のことがあげられる。病理学に精通する学術評議員による投票は学会の運営にふさわしい方を選出できる。学術評議員が学会の運営により深く関わることができ、学会活動のモチベーションが高まる。各種委員会の委員は学術評議員に限られており、役員選挙でもその役割がより重要となる。定款の変更の必要がない。

デメリットとしては、「正会員全員で選ぶ」という一体感がなくなると感じられる。しかし、最終的な承認は総会での正会員の総意による。評議員・代議員制を敷く他学会の役員選出方法と大きな違いはない。学術評議員の投票結果に疑義があれば総会で討論することができる。

タイムスケジュールは、次の通りである。4月26日の企画委員会・理事会で承認を受ける。4月27日の学術評議員会、28日の総会で改革の概要を提示する。総会終了後、病理学会HPに改革案を掲載して、広く会員よりの提言を受ける。会員からの提言を十分検討した後作成された最終案を、常任理事会、企画委員会、理事会の承認を経て2010年の第56回秋期特別総会で決議する。2011年の選挙から実施する。

選挙制度改革案について、会場より次の質問があった。学術評議員でない病理専門医にも、選挙権を与えていただきたい。これに関しては、今後検討するとの理事長の回答であった。

### 3. 佐藤昇志常任理事（学術委員会報告）

若手病理学者，病理医の活性化のために具体的な活動をしていくため，意見をいただきたい。

学術活動の更なる活性化のために，以下の委員会と協調連携していくこととした。研究推進委員会，病理診断講習会委員会，サマーフェスト委員会，さらに支部選出学術委員会を新設した。また委員会ではないが学術アドバイザー 18名を選び，意見を聞くこととした。

研究推進委員会では第7回日本病理学会カンファレンスを次の通り行う。平成22年8月6-7日岡山コンベンションセンターにて，テーマは「炎症と免疫，癌」である。世話人は岡山大学の松川昭博教授で，演題の締め切りは6月4日である。

### 4. 深山正久常任理事（病理専門医部会報告）

病理専門医試験について，過去の合格率の表を呈示した。

病理専門医の受験資格として平成22年度以降は原則として剖検例40例以上となった。平成22年度の試験については，すでに50例以上を経験している方がいることを考慮し，50例以上，あるいは40例以上と剖検講習会受講のどちらでも可とすることにした。平成23年度以降は40例以上と剖検講習会受講が必須になる。剖検講習会は来年以降毎年開催する予定である。

専門制評価・認定機構のヒアリングを受けた際，次のような指摘やアドバイスを受けた。

- 1) 指導医の資格更新の条件に，「医療安全，臨床倫理に関する講習」の受講などを取り入れているか。
- 2) 研修手帳の使用開始時点での登録，申請などの制度はあるか。剖検例については剖検報の記載時に登録することにはどうか。電子登録を取り入れてはどうか。
- 3) 研修プログラムの履修を地域で保証するシステムを考えてはどうか。

これらについては，病理専門医制度運営委員会内にワーキンググループを作り，検討していくこととした。

#### 死因究明委員会

従来のモデル事業を検証し，事業を引き継ぐものとして「一般社団法人日本医療安全調査機構」が新設された。日本医学会，内科学会，外科学会，病理学会，法医学会が参加している。

#### 医療業務委員会

##### 1) コンサルテーション委員会

コンサルテーション結果の取り扱いや今後のあり方についても検討していくこととした。

##### 2) 精度管理委員会

HER2 k-ras の評価を行う。

##### 3) 剖検・病理技術委員会

病理業務量の実態調査については，病理学会以外で調査されているものがあるのであれば，参考にさせていただきたい。

##### 4) 病理診断体制専門委員会

教室ブローベ，衛生検査所における病理診断行為の検討を行う。

##### 5) 社会保険委員会

平成22年度診療報酬改定では，組織診断料の増額や細胞診断料の新設等，重要な項目のいくつかが実現できた。次回の改正時には，開業病理診断科での病理診断料の算定や，病理診断管理加算の新設等を要望していくこととする。

### 6. 平成21年度事業報告並びに決算報告

平成21年度事業報告並びに収支決算報告が以下のとおりである。協議の結果，提案は承認された。

#### 平成21年度事業報告

平成21年4月1日～平成22年3月31日まで

#### I. 学術集会，研究会等の開催

##### 1. 学術集会の開催

「第98回日本病理学会総会」（於京都・真鍋俊明会長）を開催

「第55回日本病理学会秋期特別総会」（於東京・松原修会長）を開催

##### 2. 研究会，講習会等の開催

第6回日本病理学会カンファレンス（2009 つくば7月31日・8月1日）を実施

細胞診講習会（於東京都 3月13日・14日）を実施

病理診断講習会（於京都市 5月2日・3日）を実施

病理技術講習会（於東京都 11月18日）を実施

第3回診断病理サマーフェスト（於東京都 8月29日・30日）を実施

各支部における「学術・研究集会」等を実施

##### 3. 公開講座・シンポジウムの開催

#### II. 学会誌，学術図書等の発行

1. 「日本病理学会会誌」の発行（第98巻第1～2号）を発行

2. 「Pathology International」の発行（Vol. 59 4～12, Vol. 60 1～3）を発行

3. 「診断病理」の発行（第26巻第2～4号，第27巻第1号）を発行

4. 「日本病理学会会報」の発行（第255～266号）を発行

5. 「病理専門医部会報」の発行（2009年 第2～4号，2010年 第1号）を発行

#### III. 研究および調査

1. 「日本病理剖検報」第50輯（平成19年症例）を発行

- 2 剖検輯報編集方法の変更・充実
  - 3 剖検記録データベースの再構築
- IV 病理専門医等の資格認定
- 1 病理専門医・口腔病理専門医の認定・試験（於京都市）の実施及び資格の更新
  - 2 病理専門医の広告
  - 3 「病理専門医研修手帳」の実施
  - 4 病理専門医研修施設の認定および資格の更新
- V 学術団体との協力，連絡
- 1 学術団体等との会議共催および後援（国内）を多数実施
  - 2 腫瘍取扱い規約等の改訂
  - 3 海外病理学会との交流

英国病理学会との会員の相互派遣，学術交流を実施

アジア諸国との学術交流を実施

- VI. その他目的を達成するために必要な事業
- 1 日本病理学賞（宿題報告）を3名に授与
  - 2 日本病理学会学術奨励賞を7名に授与
  - 3 日本病理学会学術研究賞（A演説）を7名に授与
  - 4 病理学卒前教育の充実
  - 5 病理診断コンサルテーションシステムの充実
  - 6 インターネットホームページの充実
  - 7 医師賠償責任保険加入取扱いを実施
  - 8 病理専門医制度運営，医療業務，学術・研究等の各種委員会を開催

平成21年度収支決算報告

1) 収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位 円)

科目	予算額	決算額	差異
<b>I. 収入の部</b>			
<b>1. 基本財産運用収入</b>	<b>50,000</b>	<b>12,019</b>	<b>△ 37,981</b>
受取利息収入	50,000	12,019	37,981
<b>2. 会費収入</b>	<b>71,510,000</b>	<b>74,692,000</b>	<b>3,182,000</b>
正会員・学術評議員会費	29,000,000	29,212,000	212,000
同終身会費	3,000,000	3,600,000	600,000
同一般会員会費	27,000,000	29,323,000	2,323,000
学生会員会費	10,000	0	10,000
賛助会員会費	150,000	150,000	0
機関会員会費	350,000	335,000	15,000
病理専門医部会員会費	12,000,000	12,072,000	72,000
<b>3. 事業収入</b>	<b>122,700,000</b>	<b>135,440,483</b>	<b>12,740,483</b>
学術集会収入	80,000,000	94,330,511	14,330,511
論文掲載料収入	900,000	1,160,828	260,828
広告料収入	800,000	936,600	136,600
刊行物発行収入	14,000,000	12,718,500	1,281,500
専門医制度収入	16,000,000	15,942,000	58,000
病理専門医部会収入	4,000,000	3,405,513	594,487
講習会等収入	4,500,000	4,421,000	79,000
賠償責任保険事務費収入	2,500,000	2,525,531	25,531

<b>4. 寄付金収入</b>	<b>0</b>	<b>3,680,000</b>	<b>3,680,000</b>
100周年記念事業寄付金収入	0	3,680,000	3,680,000
<b>5. 繰入金収入</b>	<b>2,700,000</b>	<b>23,180,000</b>	<b>20,480,000</b>
学術医療基金繰入金収入	2,700,000	3,180,000	480,000
100周年記念事業引当預金繰入金収入	0	20,000,000	20,000,000
<b>6. 雑収入</b>	<b>3,400,000</b>	<b>4,732,353</b>	<b>1,332,353</b>
受取利息収入	400,000	110,923	289,077
雑収入	3,000,000	4,621,430	1,621,430
<b>当期収入合計 (A)</b>	<b>200,360,000</b>	<b>241,736,855</b>	<b>41,376,855</b>
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>44,851,000</b>	<b>62,864,620</b>	<b>18,013,620</b>
<b>収入合計 (B)</b>	<b>245,211,000</b>	<b>304,601,475</b>	<b>59,390,475</b>

(単位 円)

科目	予算額	決算額	差異
<b>II. 支出の部</b>			
<b>1. 事業支出</b>	<b>161,000,000</b>	<b>175,947,579</b>	<b>14,947,579</b>
学術集会経費	84,500,000	93,061,189	8,561,189
学会誌発行経費	29,000,000	27,317,770	1,682,230
会報発行経費	2,500,000	2,948,400	448,400
剖検輯報刊行経費	10,500,000	10,921,737	421,737
専門医制度運営経費	9,000,000	10,008,963	1,008,963
病理専門医部会経費	8,000,000	8,429,997	429,997
支部運営経費	6,500,000	6,500,000	0
学術奨励等経費	4,500,000	3,174,705	1,325,295
講習会等経費	3,500,000	3,406,101	93,899
各種委員会経費	3,000,000	4,350,703	1,350,703
事業人件費	0	5,828,014	5,828,014
<b>2. 管理費</b>	<b>33,130,000</b>	<b>32,727,711</b>	<b>△ 402,289</b>
人件費	15,000,000	8,464,998	6,535,002
福利厚生費	2,000,000	2,145,720	145,720
交通費	300,000	270,000	30,000
通信運搬費	3,000,000	2,776,736	223,264
会議費	1,500,000	1,658,312	158,312
印刷費	2,500,000	1,963,105	536,895
備品費	200,000	0	200,000
消耗品費	500,000	255,483	244,517
光熱費	230,000	241,254	11,254
賃借料	2,700,000	3,958,243	1,258,243
諸会費	900,000	900,000	0
補助金	200,000	0	200,000
修繕費	100,000	0	100,000
嘱託料	2,000,000	2,458,500	458,500
租税公課（消費税等）	1,500,000	1,088,500	411,500
（法人税等）	0	5,947,017	5,947,017
雑費	500,000	599,843	99,843
<b>3. その他</b>	<b>4,600,000</b>	<b>25,245,864</b>	<b>20,645,864</b>
退職給与引当預金支出	1,600,000	1,600,000	0
学術医療基金引当預金繰入支出他	3,000,000	23,645,864	20,645,864
<b>4. 予備費</b>	<b>1,000,000</b>	<b>0</b>	<b>△ 1,000,000</b>
<b>当期支出合計 (C)</b>	<b>199,730,000</b>	<b>233,921,154</b>	<b>34,191,154</b>
<b>当期収支差額 (A - C)</b>	<b>630,000</b>	<b>7,815,701</b>	<b>7,185,701</b>
<b>次期繰越収支差額 (B - C)</b>	<b>45,481,000</b>	<b>70,680,321</b>	<b>25,199,321</b>

## 2) 貸借対照表

平成 22 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	金 額		
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金・預金	158,436,987		
前払金	423,654		
未収金	518,970		
流動資産合計		159,379,611	
2. 固定資産			
基本財産	<u>30,000,000</u>		
その他の固定資産			
学術医療振興基金引当預金	98,990,518		
国際交流基金引当預金	20,133,830		
保証金	930,000		
退職給与引当預金	17,500,000		
什器備品	84,957		
その他の固定資産計	<u>137,639,305</u>		
固定資産合計		<u>167,639,305</u>	
資産合計			<b>327,018,916</b>
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
前受金	51,823,000		
未払金	14,971,166		
預り金	<u>1,905,124</u>		
流動負債合計		68,699,290	
2. 固定負債			
退職給与引当金	17,500,000		
固定負債合計		<u>17,500,000</u>	
負債合計			<b>86,199,290</b>
<b>III. 正味財産の部</b>			
正味財産			<b>240,819,626</b>
(うち基本金)			<b>(30,000,000)</b>
(うち正味財産当期増加額)			<b>( 8,281,565)</b>
負債及び正味財産合計			<u><b>327,018,916</b></u>

## 3) 正味財産増減計算書

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	12,019	49,694	37,675
基本財産受取利息	12,019	49,694	37,675
受取会費	74,692,000	69,363,000	5,329,000
学術評議員会費	29,212,000	27,090,000	2,122,000
一般会員等会費	33,408,000	30,621,000	2,787,000
病理専門医部会費	12,072,000	11,712,000	360,000
事業収益	135,440,483	143,736,738	8,296,255
学術集会収入	94,330,511	100,509,196	6,178,685
論文掲載料収入	1,160,828	986,414	174,414
広告料収入	936,600	726,600	210,000
刊行物発行収入	16,124,013	17,801,063	1,677,040
専門医制度収入	15,942,000	16,472,000	530,000
講習会等収入	4,421,000	4,752,000	331,000

賠償保険事務費収入	2,525,531	2,489,475	36,056
受取寄付金	3,680,000	0	3,680,000
寄付金収入	3,680,000	0	3,680,000
雑収入	4,732,353	11,162,576	6,430,223
受取利息	110,923	361,241	250,318
著作権協会分配金	899,200		899,200
科学技術振興事業団	542,640	727,976	185,336
Pathol Int ロイヤリティ	2,510,240	3,309,138	798,898
医中雑刊著作権使用料	25,620		25,620
刊行物編集協力金	621,240		621,240
雑収入	22,490	6,764,221	6,741,731
経常収益計	<b>218,556,855</b>	<b>224,312,008</b>	<b>△ 5,755,153</b>
(2) 経常費用			<b>0</b>
① 事業費			<b>0</b>
事業経費	175,947,579	184,404,767	8,457,188
学術集会費	93,061,189	99,161,098	6,099,909
学会誌発行費	27,317,770	30,640,588	3,322,818
会報発行費	2,948,400	3,090,675	142,275
剖検報発行費	10,921,737	11,008,914	87,177
専門医制度運営費	10,008,963	9,370,081	638,882
病理専門医部会費	8,429,997	8,838,396	408,399
支部運営費	6,500,000	5,850,000	650,000
学術奨励等費	3,174,705	2,880,391	294,314
講習会等経費	3,406,101	4,578,372	1,172,271
各種委員会費	4,350,703	3,172,120	1,178,583
事業人件費	5,828,014	5,814,132	13,882
事業費計	<b>175,947,579</b>	<b>184,404,767</b>	<b>△ 8,457,188</b>
② 管理費			<b>0</b>
人件費	8,464,998	8,328,807	136,191
福利厚生費	2,145,720	2,078,514	67,206
交通費	270,000	275,000	5,000
通信運搬費	2,776,736	2,722,620	54,116
会議費	1,658,312	1,261,629	396,683
印刷費	1,963,105	1,623,896	339,209
消耗品費	255,483	316,062	60,579
光熱水道費	241,254	236,371	4,883
賃借料	3,958,243	2,523,728	1,434,515
諸会費	900,000	900,000	0
嘱託料	2,458,500	3,351,000	892,500
租税公課	7,035,517	6,045,000	990,517
雑費	599,843	559,560	40,283
管理費計	<b>32,727,711</b>	<b>30,222,187</b>	<b>2,505,524</b>
経常費用計	<b>208,675,290</b>	<b>214,626,954</b>	<b>△ 5,951,664</b>
当期経常増減額	<b>9,881,565</b>	<b>9,685,054</b>	<b>196,511</b>
2 経常外増減の部			<b>0</b>
経常外収益			<b>0</b>
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			<b>0</b>
経常外費用計	0	0	0
退職給与引当預金支出	1,600,000	1,600,000	0
税引前一般正味財産増減額	<b>8,281,565</b>	<b>8,085,054</b>	<b>196,511</b>
法人税、住民税及び事業税			<b>0</b>
当期一般正味財産増減額	<b>8,281,565</b>	<b>8,085,054</b>	<b>196,511</b>

## 4) 財産目録

平成 22 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金・預金		
現金 現金手許有高	152,107	
普通預金 みずほ銀行本郷支店	132,434,778	
普通預金 三菱東京UFJ銀行本郷支店	140,622	
定期預金 みずほ銀行本郷支店	131,945	
郵便振替貯金	<u>25,577,535</u>	
現金・預金合計	<u>158,436,987</u>	
前払金		
家賃	195,300	
会費自動振替手数料	228,354	
前払金合計	<u>423,654</u>	
未収金		
学会誌発行収入等	518,970	
流動資産合計		159,379,611
2. 固定資産		
基本財産		
普通預金 三菱東京UFJ銀行本郷支店	<u>30,000,000</u>	
その他の固定資産		
特別財産		
学術医療基金引当預金 (普通 三菱東京UFJ銀行春日支店)	98,990,518	
国際交流基金引当預金 (普通・りそな銀行本郷支店)	20,133,830	
保証金	930,000	
退職給与引当預金	17,500,000	
什器備品	<u>84,957</u>	
その他の固定資産合計	<u>137,639,305</u>	
固定資産合計		167,639,305
資産合計		327,018,916

科 目	金 額	
II. 負債の部		
1. 流動負債		
前受金		
平成 22 年度会費・部会費等	<u>51,823,000</u>	
未払金		
英文誌印刷費等	2,785,000	
日病会誌印刷費等	5,511,599	
会報印刷費	95,550	
諸印刷費	67,200	
未払消費税等	400,000	
未払法人税等	<u>5,611,817</u>	
未払金合計	<u>14,471,166</u>	
預り金		
英文誌カラー印刷	1,745,000	
源泉所得税等	<u>160,124</u>	
預り金合計	<u>1,905,124</u>	
流動負債合計		68,199,290
2. 固定負債		
退職給与引当金	<u>17,500,000</u>	
固定負債合計		17,500,000
負債合計		<u>85,699,290</u>
正味財産		<u>240,819,626</u>

## 7. 各種委員会の委員構成 (平成 22 年 4 月現在)

委員の交代があり、委員会の構成は以下のとおりとなった。

## 1. 企画委員会

向井 清 (委員長), 深山正久, 松原 修, 本山梯一, 岡田保典, 笹野公伸, 佐藤昇志, 寺田信行, 上田真喜子, 福本 学, 落合淳志

## 1-2 公益法人 WG

向井 清, 内藤善哉, 中村直哉, 坂元亨宇, 佐々木毅

## 1-3 選挙制度改革 WG

向井 清, 深山正久, 寺田信行, 上田真喜子, 福本 学, 田口 尚

## 1-4 100周年記念事業担当

深山正久

## 2. 広報委員会

岡田保典 (委員長), 深山正久, 黒田 誠, 松原 修, 向井 清, 佐藤昇志, 上田真喜子, 山口 朗, 安井 弥, 藤井丈士, 一宮慎吾, 伊東恭子, 宇於崎宏

## 2-2 市民公開講座検討委員会

吉野 正 (委員長), 岡田保典, 降幡睦夫, 稲垣 宏, 九嶋亮治, 野々村昭孝, 竹内賢吾, 都築豊徳, 横山繁生

## 3. 財務委員会

上田真喜子 (委員長), 深山正久, 松原 修, 向井 清, 岡田保典, 佐藤昇志, 寺田信行

## 4. 学術委員会

佐藤昇志 (委員長), 深山正久, 向井 清, 岡田保典, 笹野公伸, 白石泰三, 上田真喜子, 山口 朗, 安井 弥, 高橋雅英, 山本哲郎, 張ヶ谷健一, 金井弥栄, 笠原正典, 仲野 徹, 当該年春期総会会長 (岡田保典), 秋期特別総会会長 (諸星利男)

## 4-2 学術奨励賞選考委員会

松原 修 (委員長), 加藤良平, 岡田保典, 寺田信行, 安井 弥, 吉野 正, 佐藤昇志 (学術委員長), 本山梯一 (教育委員長), 深山正久 (病理専門医制度運営委員長)

## 4-3 サマーフェスト委員会

松原 修 (委員長), 深山正久, 藤盛孝博, 福嶋敬宜, 久岡正典, 平戸純子, 本間慶一, 真能正幸, 阪本晴彦, 柴原純二, 田丸淳一 (顧問: 真鍋俊明)

## 4-4 病理診断講習会委員会

向井 清 (委員長), 吉野 正, 長谷川匡, 廣瀬隆則, 片岡憲章, 三上芳喜, 仁木利郎, 坂元亨宇, 渋谷和俊, 鳥越俊彦

## 4-5 支部選出学術委員会

白石泰三 (委員長), 原 明, 松川昭博, 村田晋一, 竹屋元裕, 田村 元, 立野正敏, 螺良愛郎

## 4-6 学術アドバイザー

浅田祐士郎, 千葉英樹, 降幡睦夫, 林 良夫, 北川昌伸, 黒住昌史, 松田道行, 村垣泰光, 内藤 眞, 中島

- 孝,中村卓郎,中里洋一,落合淳志,小笠原一誠,佐々木功典,下川 功,梶村春彦,上出利光,(顧問:廣橋説雄)
- 5 研究推進委員会  
安井 弥(委員長),加藤良平,佐藤昇志,中村卓郎,中山 淳,池田栄二,戸田修二
- 6 編集委員会  
覚道健一(委員長),根本則道,本山悌一,向井 清,岡田保典,佐藤昇志,上田真喜子,安井 弥,高橋雅英,向井万起男
- 6-2 Pathol Int 常任刊行委員会  
高橋雅英(委員長),藤本純一郎,福嶋敬宜,廣瀬隆則,石田 剛,城 謙輔,鬼島 宏,森永正二郎,本山悌一,向井 清,中谷行雄,中里洋一,野口雅之,落合淳志,小田義直,岡田保典,大島孝一,小野栄夫,坂元亨宇,佐野壽昭,佐多徹太郎,清水道生,滝澤登一郎,堤 寛,都築豊徳,上田真喜子,梅村しのぶ,横山繁生,吉野 正
- 6-3 剖検情報委員会  
根本則道(委員長),藤原 恵,楠美嘉晃,高橋 学
- 6-4 「診断病理」編集委員会  
向井万起男(委員長),布村真季(副),安田政実(副),矢持淑子(副),長谷川匡,鬼島 宏,内藤善哉,伊藤浩史,螺良愛郎,松川昭博,横山繁生(以上支部編集委員)
- 6-5 癌取扱い規約委員会  
向井万起男(委員長),伊藤以知郎,清川貴子,松野吉宏,森井英一,寺本典弘,渡邊麗子
- 7 病理専門医制度運営委員会  
深山正久(委員長),本山悌一,黒田 誠,根本則道,野島孝之,清水道生,田村浩一,江石義信,川野 潔,小西 登,村田哲也,野口雅之,向井万起男
- 7-2 病理専門医試験委員会  
野島孝之(委員長),村田哲也,中谷行雄,大林千穂,梅村しのぶ,伊丹真紀子,伊藤智雄,津田 均
- 7-3 病理専門医資格審査委員会  
黒田 誠(委員長),小西 登,菅井 有,林 一彦,上田善彦,山城勝重
- 7-4 病理専門医施設審査委員会  
村田哲也(委員長),野島孝之,伊藤浩史,中村直哉,小田義直,谷田部恭
- 7-5 病理専門医部会報編集委員会  
清水道生(委員長),堤 寛(副),望月 眞(副),佐藤昌明,鬼島 宏,上田善彦,福岡順也,大山秀樹,藤原 恵,小田義直
- 8 医療業務委員会  
根本則道(委員長),深山正久,黒田 誠,山口 朗,廣川満良,湊 宏,大橋健一,九島巳樹,杉谷雅彦
- 8-2 コンサルテーション委員会  
森谷卓也(委員長),今村好章,泉 美貴,黒瀬 顕,大島孝一,八尾隆史
- 8-3 社会保険委員会  
稲山嘉明(委員長),根本則道,金城 満,小西英一,大倉康男,佐々木毅,島村和男,若狭朋子,渡邊一男,(顧問:長村義之)
- 8-4 病理診断体制専門委員会  
佐々木毅(委員長),黒田 誠,根本則道,相島慎一,羽山忠良,岩佐葉子,岸川正大,三代川斉之,大城真理子,谷山清己,辻本正彦,安田政実,(顧問:原正道,水口國雄)
- 8-5 精度管理委員会  
鬼島 宏(委員長),秋山 太,羽場礼次,林徳眞吉,加藤哲子,木佐貫篤,笹島ゆう子,和田 了,柳澤昭夫
- 8-6 剖検・病理技術委員会  
柳井広之(委員長),遠藤希之,亀井敏昭,河原邦光,松岡健太郎,長尾俊孝,長坂徹郎,庄盛浩平
- 9 口腔病理専門医制度運営委員会  
山口 朗(委員長),黒田 誠,出雲俊之,豊澤 悟,前田初彦,原田博史,仙波伊知郎,田中陽一
- 9-2 口腔病理専門医試験委員会  
出雲俊之(委員長),長塚 仁,仙波伊知郎,田中陽一,豊澤 悟
- 9-3 口腔病理専門医資格審査委員会  
仙波伊知郎(委員長),原田博史
- 10 教育委員会  
本山悌一(委員長),白石泰三,吉野 正,長嶋洋治,長沼 廣,谷本昭英,外丸詩野,横崎 宏
- 11 国際交流委員会  
笹野公伸(委員長),松原 修,荒川 敦,森谷鈴子,鈴木 貴,横井豊治,米澤 傑
- 12 支部委員会  
橋本 洋(委員長),佐藤昇志,本山悌一,加藤良平,白石泰三,寺田信行,吉野 正
- 13 倫理委員会  
井藤久雄(委員長),本山悌一,伏木次次,伊藤雅文,武村民子,田中伸哉,吉見直己,増井 徹(外部委員),中島みち(外部委員),宇都木伸(外部委員)
- 14 リスクマネジメント委員会  
井内康輝(委員長),佐々木功典,堤 寛,児玉安司(外部委員)
- 15 死因究明委員会  
黒田 誠(委員長),藤田眞幸,江村 巖,池田 洋,森下由紀雄,居石克夫,高澤 豊
- 16 人材育成委員会  
橋本 洋(委員長),味岡洋一,浅田祐士郎,羽賀博典,石川雄一,佐々木素子,佐々木なおみ,植村芳子,渡辺みか,加藤良平,豊國伸哉
- 16-2 若手医師確保に関する委員会  
豊國伸哉(委員長),樋口佳代子,伊倉義弘,今井田克己,菅野祐幸,河野眞司,茅野秀一,西川祐司,定平吉都,鷹橋浩幸



## 16-3 男女共同参画委員会

加藤良平(委員長), 絹川典子, 久保田佳奈子, 増田友之, 南口早智子, 鍋島一樹, 小野謙三, 武島幸男  
支部相談員(は男女共同参画委員会委員)  
北海道支部 久保田佳奈子(北海道大学病院病理部)  
青木直子(旭川医科大学病理学講座)一宮慎吾(札幌医科大学医学部病理学第一講座)  
東北支部 増田友之(岩手医科大学医学部病理学講座)  
阿保亜紀子(岩手医科大学医学部病理学講座)渡辺みか(東北大学病院病理部)  
関東支部 絹川典子(日本大学医学部病理学教室)元井紀子((財)癌研究会癌研究所病理部)亀山香織(慶應義塾大学医学部病理診断部)  
中部支部 小野謙三(公立陶生病院病理部)佐々木素子(金沢大学大学院医学系研究科形態機能病理)森谷鈴子(名古屋医療センター研究検査科病理)  
近畿支部 南口早智子(京都医療センター病理診断科)坂井田紀子(関西医科大学附属枚方病院病理部)加藤元一(京都第一赤十字病院病理診断科)  
中国四国支部 武島幸男(広島大学大学院医歯薬総合研究科病理学)金子真弓(広島市立安佐市民病院病理部)中村聡子(香川県立中央病院検査部病理)  
九州沖縄支部 鍋島一樹(福岡大学病院病理部)本田由美(熊本大学医学部附属病院病理部)東美知代(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科腫瘍病理学)

## 8. 平成22年度病理専門医研修施設(認定施設)更新機関

(1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15, 17, 19, 21, 23, 25, 27, 29, 31, 294施設)

期間2年間 平成22年4月1日~平成24年3月31日

## 第1回 認可(29施設)

認定番号 施設名

1001 市立札幌病院  
2001 青森県立中央病院  
2002 岩手県立中央病院  
2003 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター  
3004 千葉県がんセンター  
3005 国立がん研究センター中央病院  
3006 東京厚生年金病院  
3007 国立国際医療センター戸山病院  
3008 NTT東日本関東病院  
3009 東京都健康長寿医療センター  
3010 独立行政法人国立病院機構東京医療センター  
3012 聖路加国際病院  
3014 同愛記念病院  
3015 武蔵野赤十字病院  
3016 川崎市立川崎病院  
3017 横浜市民病院  
3018 神奈川県立がんセンター  
4001 新潟県立がんセンター新潟病院

4002 静岡済生会総合病院  
4004 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター  
5002 京都第一赤十字病院  
5003 大阪赤十字病院  
5005 財団法人天理よろづ相談所病院  
5006 神戸市医療センター中央市民病院  
6001 (財)倉敷中央病院  
6002 岡山済生会総合病院  
6003 独立行政法人国立病院機構岡山医療センター  
6004 県立広島病院  
6006 広島市立広島市民病院

## 第3回 認可(7施設)

認定番号

施設名

1003 市立旭川病院  
1004 社団法人北海道勤労者医療協会勤医協中央病院  
3026 神奈川県立こども医療センター  
6011 国家公務員共済組合連合会呉共済病院  
7004 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター  
7005 大分県立病院  
7006 沖縄県立中部病院

## 第5回 認可(11施設)

認定番号

施設名

1005 市立函館病院  
3032 東京都立駒込病院  
4011 静岡県立こども病院  
4012 静岡市立静岡病院  
4014 三重県厚生農業協同組合連合会松阪中央総合病院  
5008 京都市立病院  
5011 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター  
5014 大津赤十字病院  
5015 大阪厚生年金病院  
5016 国立循環器病センター病院  
6013 総合病院岡山赤十字病院

## 第7回 認可(7施設)

認定番号

施設名

2008 社会医療法人明和会中通総合病院  
3011 東京通信病院  
3041 社会福祉法人三井記念病院  
3043 東京都立広尾病院  
5018 パナソニック健康保険組合松下記念病院  
6015 独立行政法人国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター  
6016 愛媛県立中央病院

## 第9回 認可(4施設)

認定番号

施設名

2010 (財)太田総合病院附属太田西ノ内病院  
4021 名古屋掖済会病院  
4022 岐阜市民病院

5023	兵庫県立がんセンター	2019	山形県・酒田市病院機構日本海総合病院
第 11 回	認可 (7施設)	2020	鶴岡市立荘内病院
認定番号	施設名	3087	総合病院取手協同病院
2011	八戸市立市民病院	3088	成田赤十字病院
3056	社会保険中央総合病院	3089	東京医療生活協同組合中野総合病院
3058	独立行政法人労働者健康福祉機構関東労災病院	5004	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立成人病センター
4028	岡崎市民病院	5045	医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院
5028	医療法人同仁会耳原総合病院	5046	独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター
5029	独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター	第 23 回	認可 (19施設)
5030	社団法人京都保健会京都民医連中央病院	認定番号	施設名
第 13 回	認可 (7施設)	2028	財団法人星総合病院
認定番号	施設名	3031	国保松戸市立病院
2014	いわき市立総合磐城共立病院	3042	(財)東京都保健医療公社豊島病院
3065	栃木県立がんセンター	3101	国保直営総合病院君津中央病院
3066	足利赤十字病院	3102	医療法人財団東京勤労者医療会東葛病院
3067	前橋赤十字病院	3103	医療法人沖縄徳洲会湘南鎌倉総合病院
3068	医療法人鉄蕉会亀田総合病院	4056	市立砺波総合病院
4031	愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院	4057	社会医療法人財団慈泉会相澤病院
5031	大阪警察病院	5052	市立長浜病院
第 15 回	認可 (8施設)	5053	大津市民病院
認定番号	施設名	5056	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター
3024	自衛隊中央病院	5057	市立堺病院
3074	千葉県こども病院	5058	市立泉佐野病院
3075	財団法人東京都保健医療公社多摩北部医療センター	5059	箕面市立病院
4037	石川県立中央病院	5060	公立学校共済組合近畿中央病院
5034	星ヶ丘厚生年金病院	5062	財団法人甲南病院
5035	社会医療法人愛仁会高槻病院	6029	香川医療生活協同組合高松平和病院
7015	社会保険小倉記念病院	7023	長崎市立市民病院
7016	飯塚病院	7024	宮崎県立延岡病院
第 17 回	認可 (2施設)	第 25 回	認可 (22施設)
認定番号	施設名	認定番号	施設名
4040	新潟県立中央病院	1015	市立室蘭総合病院
5038	京都第二赤十字病院	1016	北海道社会保険病院
第 19 回	認可 (7施設)	1017	NTT 東日本札幌病院
認定番号	施設名	1018	札幌社会保険総合病院
3038	独立行政法人国立国際医療研究センター国府台病院	1019	JA 北海道厚生連札幌厚生病院
3055	国家公務員共済組合連合会総合病院横須賀共済病院	1021	独立行政法人労働者健康福祉機構釧路労災病院
3083	川口市立医療センター	1022	医療法人社団新日鐵室蘭総合病院
3084	船橋市立医療センター	2030	秋田県厚生連平鹿総合病院
4013	岐阜県総合医療センター	3108	上都賀総合病院
4046	トヨタ記念病院	3109	独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター
5042	(財)神戸市地域医療振興財団西神戸医療センター	3110	独立行政法人国立成育医療研究センター
第 21 回	認可 (9施設)	4038	長野県厚生農業協同組合連合会北信総合病院
認定番号	施設名	4052	焼津市立総合病院
2018	由利組合総合病院	4061	長野県厚生農業協同組合連合会篠ノ井総合病院
		4063	福井県立病院
		4064	富士宮市立病院
		4065	県西部浜松医療センター

5027	(財)田附興風会医学研究所北野病院	3912	東京医科大学病院
6030	鳥取県立中央病院	3913	東京慈恵会医科大学附属病院
6031	住友別子病院	3914	東京女子医科大学病院
7028	社会福祉法人恩賜財団済生会支部福岡県済生会福岡総合病院	3915	東邦大学医療センター大森病院
7031	那覇市立病院	3916	昭和大学病院
第 27 回 認可 ( 16 施設 )			
認定番号	施設名	3917	東京医科歯科大学医学部附属病院
1025	社会福祉法人函館厚生院函館中央病院	3918	東京大学医学部附属病院
2035	財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院	3919	杏林大学医学部付属病院
3120	春日部市立病院	3920	帝京大学医学部附属病院
3121	独立行政法人国立病院機構東京病院	3921	聖マリアンナ医科大学病院
3122	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター	3922	北里大学病院
4069	掛川市立総合病院	3923	東海大学医学部付属病院
4070	静岡県立静岡がんセンター	3924	公立大学法人横浜市立大学附属病院
4071	春日井市民病院	3925	東京医科大学茨城医療センター
5001	独立行政法人国立病院機構京都医療センター	3926	獨協医科大学越谷病院
5075	社会医療法人愛仁会千船病院	3927	埼玉医科大学総合医療センター
5076	関西電力病院	3928	自治医科大学附属さいたま医療センター
5077	大阪府済生会中津病院	3929	帝京大学ちば総合医療センター
5078	医療法人明和病院	3930	順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院
7034	医療法人北九州病院北九州総合病院	3931	東京慈恵会医科大学附属柏病院
7035	独立行政法人労働者健康福祉機構九州労災病院	3932	東邦大学医療センター佐倉病院
7036	社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院	3934	駿河台日本大学病院
第 29 回 認可 ( 122 施設 )			
認定番号	施設名	3935	東京慈恵会医科大学附属第三病院
1026	市立釧路総合病院	3936	東邦大学医療センター大橋病院
1901	旭川医科大学病院	3937	東京慈恵会医科大学附属青戸病院
1902	北海道大学病院	3938	東京女子医科大学東医療センター
1903	札幌医科大学附属病院	3939	日本医科大学多摩永山病院
2037	財団法人大原総合病院	3940	日本大学医学部付属練馬光が丘病院
2901	弘前大学医学部附属病院	3941	東京医科大学八王子医療センター
2902	秋田大学医学部附属病院	3942	順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター
2903	岩手医科大学附属病院	3943	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
2904	東北大学病院	3944	昭和大学藤が丘病院
2905	山形大学医学部附属病院	3945	横浜市立大学附属市民総合医療センター
2906	福島県立医科大学附属病院	3946	日本医科大学武蔵小杉病院
3090	大和市立病院	3947	北里大学東病院
3132	国際医療福祉大学三田病院	3948	帝京大学医学部附属溝口病院
3901	自治医科大学附属病院	3949	昭和大学横浜市北部病院
3902	獨協医科大学病院	4058	公立学校共済組合東海中央病院
3903	群馬大学医学部附属病院	4079	医療法人立川メディカルセンター立川総合病院
3904	筑波大学附属病院	4080	総合病院南生協病院
3905	埼玉医科大学病院	4089	国際医療福祉大学熱海病院
3906	防衛医科大学校病院	4901	浜松医科大学医学部附属病院
3907	千葉大学医学部附属病院	4902	新潟大学医歯学総合病院
3908	順天堂大学医学部附属順天堂医院	4903	山梨大学医学部附属病院
3909	慶応義塾大学病院	4904	信州大学医学部附属病院
3910	日本大学医学部附属板橋病院	4905	富山大学附属病院
3911	日本医科大学付属病院	4906	金沢大学附属病院
		4907	金沢医科大学病院
		4908	福井大学医学部附属病院
		4909	名古屋大学医学部附属病院
		4910	名古屋市立大学病院

4911 愛知医科大学病院  
 4912 藤田保健衛生大学病院  
 4913 岐阜大学医学部附属病院  
 4914 三重大学医学部附属病院  
 4917 順天堂大学医学部附属静岡病院  
 5026 淀川キリスト教病院  
 5901 京都大学医学部附属病院  
 5902 京都府立医科大学附属病院  
 5903 関西医科大学附属滝井病院  
 5904 大阪医科大学附属病院  
 5905 大阪市立大学医学部附属病院  
 5906 大阪大学医学部附属病院  
 5907 近畿大学医学部附属病院  
 5908 和歌山県立医科大学附属病院  
 5909 兵庫医科大学病院  
 5910 神戸大学医学部附属病院  
 5912 近畿大学医学部奈良病院  
 5913 奈良県立医科大学附属病院  
 5914 滋賀医科大学医学部附属病院  
 6009 独立行政法人国立病院機構四国がんセンター  
 6042 福山市民病院  
 6043 広島県厚生農業共同組合連合会尾道総合病院  
 6901 徳島大学医学部・歯学部附属病院  
 6902 香川大学医学部附属病院  
 6903 高知大学医学部附属病院  
 6904 愛媛大学医学部附属病院  
 6905 岡山大学病院  
 6906 川崎医科大学附属病院  
 6907 広島大学病院  
 6908 鳥取大学医学部附属病院  
 6909 島根大学医学部附属病院  
 6910 山口大学医学部附属病院  
 6911 川崎医科大学附属川崎病院  
 7038 独立行政法人国立病院機構九州医療センター  
 7039 医療法人天神会新古賀病院  
 7901 産業医科大学病院  
 7902 久留米大学病院  
 7903 九州大学病院  
 7904 福岡大学病院  
 7905 佐賀大学医学部附属病院  
 7906 熊本大学医学部附属病院  
 7907 長崎大学病院  
 7908 大分大学医学部附属病院  
 7909 宮崎大学医学部附属病院  
 7910 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院  
 7911 琉球大学医学部附属病院  
 7912 福岡大学筑紫病院

## 第31回 認可(17施設)

認定番号	施設名
1014	砂川市立病院
2031	公立置賜総合病院
3085	医療法人社団木下会千葉西総合病院
3134	医療法人社団圭春会小張総合病院
3135	国家公務員共済組合連合会立川病院
3136	青梅市立総合病院
3137	東京北社会保険病院
3138	医療法人社団ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院
3950	埼玉医科大学国際医療センター
3951	順天堂大学医学部附属練馬病院
4053	沼津市立病院
4084	市立四日市病院
4085	愛知県厚生農業協同組合連合会豊田厚生病院
4086	医療法人宏潤会大同病院
6049	JR 西日本広島鉄道病院
6050	松江市立病院
6052	社会医療法人近森会近森病院

## 9. 平成22年度病理専門医研修施設(登録施設)更新機関

(第1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15, 17, 19, 21, 23, 25, 27, 29, 31, 114施設)

期間2年間 平成22年4月1日～平成24年3月31日

## 第1回 認可(9施設)

登録番号	施設名
2004	福島県立会津総合病院
3001	社会福祉法人恩賜財団済生会支部栃木県済生会宇都宮病院
3009	独立行政法人国立病院機構霞ヶ浦医療センター
3013	東京都教職員互助会三楽病院
3022	独立行政法人国立病院機構災害医療センター
3026	平塚市民病院
4008	名鉄病院
4019	市立伊勢総合病院
7007	独立行政法人国立病院機構別府医療センター

## 第3回 認可(1施設)

登録番号	施設名
5022	兵庫県立柏原病院

## 第5回 認可(2施設)

登録番号	施設名
3035	国家公務員共済組合連合会九段坂病院
5029	医療法人徳洲会八尾徳洲会総合病院

## 第7回 認可(2施設)

登録番号	施設名
3042	千葉県救急医療センター
3043	JFE健康保険組合川鉄千葉病院

第9回 認可(3施設)	3086 草加市立病院
登録番号 施設名	4079 独立行政法人労働者健康福祉機構新潟労災病院
4037 佐久市立国保浅間総合病院	4080 一宮市立市民病院
4039 国家公務員共済組合連合会名城病院	7048 社会福祉法人恩賜財団済生会川内病院
4040 総合病院中津川市民病院	
第11回 認可(2施設)	第25回 認可(15施設)
登録番号 施設名	登録番号 施設名
4045 みなと医療生活協同組合協立総合病院	1013 医療法人母恋日鋼記念病院
7031 唐津赤十字病院	2020 公立刈田総合病院
第13回 認可(2施設)	2021 宮城県立がんセンター
登録番号 施設名	2022 仙台社会保険病院
1006 独立行政法人国立病院機構道北病院	2023 大崎市民病院
4051 医療法人社団健和会健和会病院	3094 (財)結核予防会複十字病院
第15回 認可(4施設)	3095 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院
登録番号 施設名	4085 長野市民病院
3070 (財)東京都保健医療公社東部地域病院	4086 長野県厚生農業協同組合連合会長野松代総合病院
4056 山田赤十字病院	5069 大阪府済生会富田林病院
4057 松阪市民病院	5070 市立枚方市民病院
6020 岡山労災病院	5071 明石市立市民病院
第17回 認可(3施設)	5072 赤穂市民病院
登録番号 施設名	5073 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター
3074 医療生協さいたま生活協同組合埼玉協同病院	6030 医療法人里仁会興生総合病院
4061 豊川市民病院	
5048 市立伊丹病院	第27回 認可(5施設)
第19回 認可(6施設)	登録番号 施設名
登録番号 施設名	4093 岐阜県厚生農業協同組合連合会中濃厚生病院
4070 飯田市立病院	5079 泉大津市立病院
4071 大垣市民病院	6047 国家公務員共済組合連合会高松病院
4072 羽島市民病院	6048 高知県立幡多けんみん病院
5050 社会保険京都病院	7051 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
5051 加西市立加西病院	
7041 今給黎総合病院	第29回 認可(23施設)
第21回 認可(6施設)	登録番号 施設名
登録番号 施設名	1029 医療法人彰和会北海道消化器科病院
1011 北海道中央労災病院せき損センター	1030 北海道社会事業協会小樽病院
1014 医療法人徳洲会札幌徳洲会病院	2029 JA秋田厚生連秋田組合総合病院
4075 西尾市民病院	3080 国立療養所多磨全生園
5056 高槻赤十字病院	3111 (財)ライフ・エクステンション研究所付属永寿総合病院
5059 兵庫県立こども病院	3901 東京大学医科学研究所附属病院
7043 医療法人親仁会米の山病院	3902 東海大学医学部附属東京病院
第23回 認可(6施設)	3903 東海大学医学部附属八王子病院
登録番号 施設名	3904 東海大学医学部附属大磯病院
1019 医療法人王子総合病院	4091 金沢市立病院
2018 岩手県立大船渡病院	4096 公立松任石川中央病院
	4097 南砺市民病院
	4901 藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院
	5081 大阪府済生会茨木病院
	5082 兵庫県立加古川医療センター
	5901 関西医科大学附属枚方病院
	6015 徳島市民病院
	6034 独立行政法人労働者健康福祉機構山陰労災病院

6051 山口県済生会下関総合病院  
 6052 社会保険下関厚生病院  
 7056 医療法人社団高邦会高木病院  
 7057 済生会長崎病院  
 7058 長崎県立島原病院

第 31 回 認可 (25 施設)

登録番号 施設名

2030 青森労災病院  
 3114 大田原赤十字病院  
 3115 医療法人社団日高会日高病院  
 3116 町田市市民病院  
 3117 済生会横浜市東部病院  
 4112 NHO まつもと医療センター中松本病院  
 4113 長野中央病院  
 4114 福井赤十字病院  
 5086 京都桂病院  
 5087 医療法人生長会府中病院  
 5088 大阪鉄道病院  
 5089 姫路聖マリア病院  
 5090 医療法人公仁会姫路中央病院  
 6055 鳥取赤十字病院  
 6056 独立行政法人国立病院機構関門医療センター  
 6057 総合病院坂出市立病院  
 6058 社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院  
 7061 福岡県済生会二日市病院  
 7062 独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター  
 7063 独立行政法人国立病院機構熊本再春荘病院  
 7064 NTT 西日本九州病院  
 7065 独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター  
 7066 財団法人慈愛会今村病院分院  
 7067 独立行政法人国立病院機構沖縄病院  
 7068 医療法人白十字会白十字病院

10. 2007 年度専門医試験 I 型文章問題 I-64 の「誤」  
 解答について

2007 年度専門医試験 I 型文章問題 I-64 の解答につき病理学会員より疑義照会があり、調査の結果、解答に誤りがあったこと、「誤」解答に基づいて採点が行われていた事実が判明しました。しかし、この採点ミスは可否判定に影響がありませんでした。

疑義照会内容

『死体解剖をしようとする者はその遺族の承諾を受けなければならない。ただし、死亡確認後 14 日を経過しても、なおその死体について引き取り者のない場合等はこの限りではない。』に対する正解が『 』として社団法人日本病理学会会報 (第 236 号) に掲載されている。

しかし平成 17 年改正の最新版の死体解剖保存法には『死体の解剖をしようとする者は、その遺族の承諾を受けなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合においては、この限りではない。』として『死亡確認後三十日を経過しても、なおその死体について引取者のない場合』と記されており、正解は『×』ではないか。

調査結果

『死亡確認後三十日』が正しく、試験問題文は誤った文章である。従って I-64 は『×』とすべきであった。

今回の採点ミスに関して

I-64 問題は配点 1 点であった。  
 I 型 + II 型問題合計点について合格者最低点と不合格者最高点の間には 13 点の差を持って判定しており、すべての受験者を正解扱いとしても、あるいは I-64 問題を削除しても最終の可否判定には変更がない。

2007 年度専門医試験の採点ミスを深くお詫び申し上げますとともに、今後 I 型文章問題の確認作業をさらに追加して行うなど、再発防止に努めて参る所存です。

2007 年度専門医試験実施委員長 野口雅之  
 2007 年度専門医試験委員長 清水道生  
 日本病理学会専門医部会長 深山正久  
 日本病理学会理事長 青笹克之

11. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

遠城寺宗知 名誉会員 (平成 22 年 6 月 21 日ご逝去)  
 中島 輝之 学術評議委員 (平成 22 年 6 月 26 日ご逝去)

---

## お知らせ

---

1. 平成 22 年度上原賞（研究業績褒賞）受賞候補者の推薦について

申込み締切り：平成 22 年 9 月 8 日

連絡先：（財）上原記念生命科学財団

〒 171-0033 東京都豊島区高田 3-26-3

TEL：03-3985-3500 FAX：03-3982-5613

E-mail：uehara-f@jade.dti.ne.jp

2. 2011 年度女性科学者に明るい未来をの会「猿橋賞」受賞候補者の推薦について

申込み締切り：2010 年 11 月 30 日

連絡先：女性科学者に明るい未来の会

〒 247-0022 横浜市栄区庄戸 5-14-3

E-mail：saruhashi2010@saruhashi.net

2010

IAP

: 22 11 27 9:00-17:30  
:

9:00-11:45

: 14  
:

1.

2.

3.

4 SE EMR/ESD

5 Group

: IAP 3,000 5 4,000

13:15-17:30

1 13:15-15:15

A-1

2)

B-1

MDS

C-1

D-1

2 15:30-17:30

A-2

B-2

update

C-2

D-2

WHO

DVD-R

10  
index.html

2010 8 2

1 IAP  
: IAP

<http://www.iapjapan.org/>  
7,000 12,000

: IAP

IAP

409-3898

1110

350-1298 1397-1  
TEL 042-984-0609 FAX 042-984-0609

TEL 055-273-9529 FAX 055-273-9534